

開催  
案内

# リカバリー 全国フォーラム2016

リカバリー志向サービスへの転換

支援サービスの「見える化」とリカバリー 当事者参加による意思決定を考える

RECOVERY  
FORUM  
2016

8/26 [金] 27 [土]

帝京平成大学 池袋キャンパス 本館

主催

認定特定非営利  
活動法人

地域精神保健福祉機構 (コンボ)

公益財団法人

精神・神経科学振興財団



FOLLOW US ON TWITTER  
@recoveryforum



LIKE US ON FACEBOOK!  
facebook.com/recoveryforum



**COMHBO** 認定特定非営利活動法人  
地域精神保健福祉機構  
Community Mental Health & welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F  
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <http://comhbo.net>

リカバリー志向サービスへの転換

# リカバリー全国フォーラム2016

◆ 2016のテーマ ◆

## 支援サービスの「見える化」とリカバリー 当事者参加による意思決定を考える

8回目を迎えるリカバリー全国フォーラムは、毎回2日間にわたり1400人超の参加者により開催されています。回を重ねる中で、当事者・家族・精神保健福祉・医療関係者・市民など職種・所属を超えた仲間が全国から集い、活発な議論を行う場として定着してきました。

今回のテーマは、<支援サービスの「見える化」とリカバリー：当事者参加による意思決定を考える>です。精神保健福祉の分野では、福祉サービス、保健医療サービスとも、その具体的な内容やサービスの質がわかりにくく、情報があまりに不足していることが多い状況があります。当事者参加による意思決定、リカバリー志向のサービスを求めても、それを実現する前提が整っていません。支援サービスの「見える化＝可視化」は、当事者がサービス利用の主人公となり、より良いサービスを主体的に選択し、リカバリー志向サービスへの転換を進める重要な鍵になるでしょう。今回は、がん領域など他領域の進んだ実践の経験から学びつつ、サービスの「見える化」のため、何が必要で何ができるのか、大いに語り合う場になることを期待しています。

皆様が、全国から積極的にご参画いただくことを心よりお待ちしております。

2016年

日時 8/26 [金] 27 [土]

主催

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (コンボ)  
公益財団法人 精神・神経科学振興財団

会場

帝京平成大学 池袋キャンパス 本館  
▶ JR池袋駅東口から徒歩12分

定員

1200名 ▶ 6月中旬申込受付開始



FOLLOW US ON TWITTER  
@recoveryforum



LIKE US ON FACEBOOK!  
facebook.com/recoveryforum

### 後援団体

\*昨年度の後援団体に申請中、順不同・法人種別略

- 内閣府政策統括官(共生社会政策担当) ● 厚生労働省 ● 東京都 ● 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 特定非営利活動法人日本障害者協議会 ● 公益社団法人 全国精神保健福祉社会連合会 ● 認定特定非営利活動法人全国精神障害者団体連合会
- 社会福祉法人全国社会福祉協議会 ● 全国精神保健福祉相談員会 ● 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
- 一般社団法人日本精神科看護協会 ● 一般社団法人日本作業療法士協会 ● 公益社団法人日本看護協会 ● 公益社団法人日本精神保健福祉士協会
- 全国保健所長会 ● 全国精神保健福祉センター長会 ● 公益社団法人日本精神科病院協会 ● 公益社団法人日本精神神経科診療所協会
- 特定非営利活動法人全国精神障害者地域生活支援協議会 ● きょうされん ● 特定非営利活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会
- 公益社団法人日本精神保健福祉連盟 ● 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 ● 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
- 一般社団法人日本社会精神医学会 ● 公益社団法人日本精神神経学会 ● 一般社団法人日本総合病院精神医学会
- 日本精神障害者リハビリテーション学会 ● 一般社団法人 SST 普及協会 ● 心理教育・家族教室ネットワーク ● 一般社団法人日本社会福祉学会
- 社会福祉法人東京都社会福祉協議会 ● 特定非営利活動法人精神科作業療法協会 ● 公益財団法人日本学校保健会 ● 全国養護教諭連絡協議会
- 一般社団法人日本うつ病センター ● 社会福祉法人NHK厚生文化事業団 ● 東京都精神障害者団体連合会

### 企画委員長

高橋清久 (公益財団法人 精神・神経科学振興財団)

### 企画委員

\*敬称略・順不同

- 相澤和美 (地域精神看護ケアねっと / 国際医療福祉大学大学院) ● 有村律子 (埼玉県精神障害者団体連合会・ポプリ) ● 安西信雄 (帝京平成大学)
- 伊藤順一郎 (メンタルヘルス診療所しほふぁーれ / 認定NPO法人地域精神保健福祉機構)
- 宇田川健 (認定NPO法人地域精神保健福祉機構) ● 大島巖 (日本社会事業大学 / 認定NPO法人地域精神保健福祉機構) ※企画委員会総括幹事
- 加藤大慈 (戸塚西口りんどうクリニック / 横浜市立大学附属病院精神科) ● 川口敬之 (NPO法人精神科作業療法協会 / 北里大学)
- 香田真希子 (目白大学) ● 島本禎子 (杉並家族会) ● 竹内政治 (さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ / 日本ピアスタッフ協会)
- 田中直樹 (NPO法人あおほ福祉会 / NPO法人全国精神障害者地域生活支援協議会) ● 仲野栄 (一般社団法人日本精神科看護協会)
- 福井里江 (東京学芸大学) ● 藤野英明 (横須賀市議会議員) ● 増川信浩 (WRAP ファシリテーター)
- 四方田清 (公益社団法人日本精神保健福祉士協会 / 順天堂大学)

プログラム

8/26 [金]

9:30	受付開始
10:00 - 10:15	主催者挨拶
10:15 - 12:00	<p><b>トークライブ</b> リカバリー全国フォーラムと「私のリカバリー」2016 リカバリーフォーラム出演者、参加者などによるリレートーク！</p> <p><b>司会</b> 宇田川健 (NPO 法人コンボ) &amp; 藤野英明 (横須賀市議会議員)</p>
12:00 - 13:00	<p>昼休み * 12:50 - 13:00 ご案内タイム</p>
13:00 - 15:00	<p><b>記念講演</b></p>  <p>支援サービスの「見える化」と私たちのリカバリー がん領域の「当事者参加による意思決定」の経験から（仮）</p> <p><b>講師</b> 小嶋修一 (株式会社 TBS テレビ報道局 / がんサバイバー) <b>座長</b> 高橋清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団)</p>
15:15 - 17:45	<p><b>分科会</b> * 詳細は次ページをご覧ください</p>
18:00 - 20:00	懇親会

プログラム

8/27 [土]

9:00	受付開始
9:30 - 12:00	<p><b>シンポジウム</b> 当事者視点で共同意思決定 (SDM) を考える</p> <p><b>座長</b> 伊藤順一郎 (メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ)</p>
12:00 - 13:00	昼休み
13:00 - 15:30	<p><b>分科会</b> * 詳細は次ページをご覧ください</p>
15:45 - 16:30	<p><b>クロージング</b> <b>司会</b> 伊藤順一郎 &amp; 宇田川健 &amp; 大島巖 (認定 NPO 法人コンボ) 高橋清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団)</p>

事務局



**COMHBO** 認定特定非営利活動法人  
地域精神保健福祉機構  
Community Mental Health & welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F  
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <http://comhbo.net>

1 **リカバリー宣言2016** ～イタリアからの声を聴いて:ポローニャの友だち～

「リカバリーって、なんだろう?」。 「日本大好き」と言うイタリアはポローニャの友人たちが緊急来日! イタリア、日本で暮らす僕たちの“生の体験談”を交し合っ、 「リカバリーの鍵」を探します。国や地域が違っていても、「みんな違ってみんないい!!」今年は何が見つかるだろうか? 今年、「東京ソテリア: イタリアからの声プロジェクト」とのコラボ企画です。仲間作り、…イタリア好きな方も、是非どうぞ!!

イタリア・ポローニャ在住の仲間、増川ねてる (WRAPファンリテーター)

シンポジウム  
&  
ワールドカフェ

2 **退院支援の原点を考える** ～長期入院患者に向けたピアサポート活動から～

精神科病院の中には未だ多くの長期入院患者の方がいらっしゃいます。そして一年一年と歳を重ねています。このような方々に対する退院支援施策として、退院促進支援事業は始まりました。しかし実績を上げられないうちに、もう10年以上が経過しました。本分科会では今一度、長期入院患者の方の退院支援に焦点を当てます。ピアサポーターの方を中心として実践報告をいただき、それを踏まえて皆さんと語り合う場にしたいと考えています。

伊聖根・寒川吟子(はらからの家福祉会)、高野悟史(日本社会事業大学大学院生)、中越章乃(神奈川県立保健福祉大学)、他

シンポジウム  
&  
ワークショップ

3 **IPS:就活と職場開拓** ～仕事の見つけ方・続け方～ (IPS = 個別就労支援プログラム)

「働きたい」という希望を持った時に、どんな就職活動をしたら良いのか、また就労支援者はどんなふうに職場開拓をしているのか、具体的に紹介します。あなたの就活に役に立つかも…。

香田真希子(目白大学)、本多俊紀(コミュニティ楽創)、池田真砂子(こみっと)、佐藤江美(慈雲堂病院)、IPS利用者

シンポジウム  
&  
ワークショップ

4 **ピアサポートの部屋** ～ピアサポート・ネットワーク・プロモーション・プロジェクトinリカバリー全国フォーラム2016～

ピアサポートグループを自主的に立ち上げた人たちに、活動報告、なぜ立ち上げる必要を感じたのか、そこでの苦勞、その必要性などを話してもらいます。そのあとは参加者全員で小グループに分かれ、言いつばなし聞さばなしの会を体験します。

割田大悟(ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in横浜)、岩田剛(元気+サークルs in秋葉原)、他

ワーク  
ショップ

5 **IMR** ～いまから みんなで リカバリー～ (IMR = Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー)

IMR はリカバリーにとっても有用なプログラムです。IMR では最初にリカバリーについて話し合い、1人1人の目標をつくり、それを実現するために、病気やストレスの対処などについて、みんなで語り合いながら学んでいきます。この分科会では IMR の説明のほか、IMR を実践している施設から、IMR がリカバリーにどう役立ったか、また率直な感想を、当事者と実践者が話します。

加藤大慈、内山繁樹、中村亮太、藤田英美、吉見明香、渡辺厚彦、生活支援センター西の皆さん、鷹岡病院の皆さん、横浜舞岡病院の皆さん

シンポ  
ジウム

6 **発達障害者の就労**

発達障害者の就労のポイントや、障害者就労移行支援事業所での例をあげながら、会場とディスカッションします。そのなかでは、発達障害者の就労実績のある事業所の、支援の配慮工夫をご紹介しますとともに、継続雇用のヒントを皆さんと探っていききたいと思います。

浦野由佳(JSN東京)、金塚たかし(NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク)、他

シンポ  
ジウム

7 **精神保健医療福祉の「見える化」:現在と未来2016**

2015年11月から開始したコンボの精神保健医療福祉「見える化」計画について、開始にいたる経緯、「見える化」に頂いたアンケート調査の分析結果から分かった精神医療の現状の報告を行います。その後、医療を提供する側と客観的な立場から、今後の展開に関する提案を頂き、それに基づき会場の参加者からの意見をいただきます。

宇田川健(認定NPO法人コンボ)、菊地俊暁(杏林大学医学部)、秋山剛(NTT東日本関東病院)、吉本明美(共同通信社)、島田豊彰(認定NPO法人コンボ)

シンポ  
ジウム

8 **家族のピアサポート活動のひろがり**

家族のためのピアサポートプログラム、「家族による家族学習会」は、行政の支援を受けて実施しているところや病院での実施、きょうだいや子どもの立場でのピアサポートプログラムとしての実施など、多方面に進化しています。このプログラムの普及活動には、今年度からみんなねっとも取り組むことになりました。関心のある方、ぜひご参加ください。

川辺慶子(大阪府精神障害者家族会連合会)、保健所職員、高岡陸昌(阪本病院)、天川智子(NPO法人あおば福祉会)、野村忠良(全国精神保健福祉会連合会・みんなねっと)

シンポ  
ジウム

9 **語り合い! 医療サービスの「見える化」ってなんだ?**

今日精神科医療ユーザーは、医療サービスの事前情報や質の評価が不明なままサービスを受けることがほとんどです。リカバリー志向の観点から、自分の人生を主体的に生き健康を保つためには、医療サービスを適切に選択し利用することが必要であり、医療サービスの情報の「見える化」が求められています。本分科会では、ユーザーと病院看護の立場からの話題提供をふまえ、皆さんといっしょに医療サービスを「見える化」していきます。

佐々木理恵(多機能型事業所すべい)、市川左千子(埼玉県精神障害者団体連合会ポプリ)、下地英樹(相州病院)、仲野栄(日本精神科看護協会)、大橋秀行(精神科作業療法協会/埼玉県立大学)、相澤和美(地域精神看護ケアねっと/国際医療福祉大学院)、川口敬之(精神科作業療法協会/北里大学)

シンポジウム  
&  
ワークショップ

10 **公募企画** **家族への暴力から見つめる精神医療と地域支援**

精神障がい者の犯罪率は、一般人口よりも低いことがわかっています。私たちの調査では、見ず知らずの人への暴力は僅か1%ですが、家族の誰かに身体的暴力をふるったことがあった人は6割でした。暴力が家の中だけで、頻繁かつ長期間起きており、これは家庭内の問題で片付けられません。なぜ起きるのか、どうしたらなくせるのか、当事者も家族も責めることなく、精神医療や地域支援のあり方も含め、オープンに議論したいと考えています。

藤山正子(東京大学大学院)、当事者の皆さん、親の立場の方、他

シンポジウム  
&  
ワークショップ

11 **公募企画** **精神疾患があっても結婚したい! 結婚できる? ～婚活当事者と結婚相談所担当者が語る!～**

こころにハンディがあったって恋愛したい! 結婚したい! と思うことは人間として当然の欲求です。しかし、実際に結婚するとするとそもそも出会いの方法がありません。通常の婚活を行おうとしても審査ではねられてしまいます。そんな精神疾患を持つ方の婚活や結婚の現状を、自身もうつ病である当事者、障害者も受け入れている結婚相談所の代表、そしてかつて闘病し現在復活して活躍する会社員が、本音で語ります。

松本謙太郎(フリーライター・婚活当事者)、影山頼央(結婚相談NPO)、中林能昭(会社員・婚活当事者)

シンポ  
ジウム

## WRAP - 元気回復行動プラン

ワーク  
ショップ

「私の元気を私が作る」、元気回復行動プラン…(WRAP)。この分科会では、「元気～Wellness～」を中心テーマに、お互いの経験から学びあいます。「自分の元気を回復したい」「WRAP、興味があるんだけどなかなか機会がこれまでなかった」「WRAP 好きだから、今年も行きたい!」「仲間づくりをしたいんだ。」・・・どんな方も大歓迎!! 進行は全国のWRAP ファシリテーターの皆さんです。学びと出会いの場に、是非、どうぞ。

全国のWRAPファシリテーターの皆さん

12

## 精神障害を持つ親のもとで育つ子どもへの支援とリカバリー

シンポジウム

精神障がいがあっても治療を受けながら出産し、子育てすることが当たり前となりつつあります。しかし、精神障がいを持つ親とその子どもへの社会的支援は大変不十分です。十分な養育が受けられなかった子どもは、大人になってからも様々な生きづらさを抱えています。この分科会では、子どもたちの体験を通して、その困難や今後の子ども支援のあり方、そして、子どもたちのリカバリーについて考えたいと思います。

横山恵子(埼玉県立大学)、子どもの立場の方々

13

## ピアスタッフの働き方について考える

シンポジウム  
ワークショップ

ピアスタッフが職場で自らの経験の強み、「リカバリー」を活かして仕事に従事する存在であるためには、どのようなことが必要で、何が大切なのか。そしてチームの一員として専門職等との関係である「協働」とは何か。現場で実践しているピアスタッフ、専門職の声を聴きます。

佐々木理恵(多機能型事業所すべい)、伊澤雄一・小林澄明(はらからの家福祉会)、原田幾世(日本ピアスタッフ協会)、他

14

## 訪問による支援をあらためて考える

シンポジウム

アウトリーチサービスのさらなる充実が、求められています。しかし、その体制は十分とは言えず、それにまつわる制度も上手く活用されていない現状もあります。この分科会では、さまざまな訪問による支援についての実際や課題を皆さんと共有し、今後の取り組みに向けて考えていく場したいと思います。

佐川まこと(この会)、澤田高綱(一般社団法人てとて)、津阪治男(就労継続支援B型ばれっと)、野々上武司(訪問看護ステーションleaf)、長谷川祐太(岡崎クリニック)、望月明広(横浜市神奈川区生活支援センター)、他

15

## 知ってたら違った? 当事者が語る学校メンタルヘルス教育

シンポジウム

学校教育の中で児童生徒にメンタルヘルス教育を行うことは、偏見の緩和や治療時の早期介入に繋がる重要なものです。本分科会では、前半に学校メンタルヘルス教育の実践として、学校メンタルヘルス・リテラシー教育研究会の活動を紹介します。後半では「学校教育の必要性」をテーマに、精神障がいを持つ当事者によるシンポジウムを行います。会場の皆様からご意見・ご質問を募り、活発な意見交換を行います。

黛宗一(静岡県立大学)、上松太郎(横浜市立大学附属市民総合医療センター)、松浦佳代(東京医科歯科大学大学院生)、井ノ口恵子(横浜市立大学大学院生/更生保護法人まこと寮)、倉田真奈美(さかつるWRAP)、澤田優美子(日本社会事業大学大学院生)、渡辺洋子、志村和哉(スクールカウンセラー)、大島巖(日本社会事業大学)

16

## どこに向かう!? 精神科デイケア! ~これからのデイケアに求められる役割を考える~

シンポジウム

本年4月に精神科デイケアの診療報酬が改定され、デイケアの役割・機能により明確さが求められるようになりました。この分科会では、デイケアにおけるリハビリテーションの一つである就労支援について、職業準備性の視点からその役割を考えます。医療機関、ハローワーク、就労移行支援事業所のほか、デイケアで職業準備性を高めて就労した元ユーザーの方たちからお話をいただき、デイケアの今後の役割について考えます。

中谷真樹、小川瑛子(住吉病院)、上野勝任、高橋麻貴(当事者)、原敬造(原クリニック)、肥田裕久・木村尚美(ひだクリニック)、大山早紀子(立教大学)、他

17

## アンチスティグマとリカバリー ~地域での活動はスティグマをどう変えてきたか~

シンポジウム

地域・コミュニティで活動してきた当事者、家族に、活動の報告、そこでの成果、その時の困難、偏見・誤解に対してもサポートがあったら、どんなサポートがほしかったかに焦点を絞り、報告していただきます。そのあとは、会場からの発言と質疑応答に当たりたいと思います。

NPO法人多摩草むらの会、小熊俊雄(こころラジオ)、大江祥博(就労支援センターFLaT/大江ん隊隊長)、宇田川健(認定NPO法人コンボ)、島本禎子(杉並家族会)、高橋清久(精神・神経科学振興財団)

18

## これからの働き方を語ろう

ワーク  
ショップ

働く人のミーティングCATでは、主に精神障害がある働く人が集まり、仕事の悩みを話したり、解決方法を話し合ったりしてきました。この分科会では、CAT実行委員から就職活動や仕事の体験談をお話します。また、参加者の皆さんとこれからの働き方について語り合いたいと思います。

働く人のミーティングCAT実行委員、NPO法人NECSTスタッフ

19

## 権利擁護とリカバリー

シンポジウム  
ワークショップ

法改正に伴う保護者制度廃止に関することや、精神科医療のあるべき姿、地域生活支援における差別解消法、権利擁護に関することを幅広くシンポジウムで検討し、グループディスカッションにより共有し深めます。

山本輝之(成城大学法学部)、松宮透高(県立広島大学・PSW)、当事者2人、渡辺由美子(南八幡メンタルサポートセンター)、松田裕児(成田市社会福祉協議会)、四方田清(日本精神保健福祉士協会/順天堂大学)

20

## リカバリーをさまたげない薬とのつきあい方

シンポジウム

日本では多剤大量処方一般的に行われてきた歴史があり、「薬への過剰な期待」は、根強いものがあります。このことは、支援者、家族、当事者に対してもその影響が及んでいます。ところが近年、代謝系の副作用や突然死のリスクへ関心が高まり、体の健康も留意した薬とのつきあい方にシフトすべき時代となりました。この分科会は、過剰な服薬はリカバリーを妨げること、薬だけに頼らない生活の大切さを考える場とします。

下平美智代(リカバリーサポートセンターACTIPS訪問看護ステーションACT-J)、糸川昌成(東京都医学総合研究所)、築地茉莉子(千葉大学医学部附属病院薬剤部)、加藤伸輔(ピアサポートグループ在)、他

21

## リカバリーを応援する地域精神保健のありよう ~関係性・システム~

ワーク  
ショップ

この分科会では、参加者 1 人ひとりが、どのような精神保健医療福祉サービスであつたら利用してもよいと思うか、自分としては変革のために何をしたいか等を語り合います。僕たちは、これからどこへ行くのか? 最近話題のオープンダイアログなども取り上げ、語り合い、新たな発想が沸く場をもちたいと思います。目標は「極力、強制入院に頼らない、あたらしい、地域の精神保健医療福祉」です。

伊藤順一郎(メンタルヘルス診療所しつぽふぁーれ)、福井里江(東京学芸大学)、他

22

1 参加登録

\*電話でのお申込はお受けいたしませんので、あらかじめご了承ください

● ウェブサイトからの申し込み方法 \*クレジットカードによるお支払が可能です

リカバリー全国フォーラム2016  
http://V3.apollon.nta.co.jp/recovery2016/

事前参加・宿泊等の申込み・お支払い

申込み完了

ウェブサイト申込の問合せ

日本旅行千葉支店「リカバリー全国フォーラム」係 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-3-16  
TEL: 043-227-2307 FAX: 043-225-2241 平日 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝日休業)

● ファックス・郵送

裏表紙の  
申込書に記入

お支払い

FAX・郵送

申込み完了

参加申込み期限:  
平成28年8月7日(日)

振込先

\*恐れ入りますがお振込手数料は  
お客様にてご負担ください

郵便振替 00230-2-116537  
リカバリーフォーラム

参加費・お弁当代・懇親会費・宿泊費・  
賛助会費・ご寄付の代金をお振込みの上、  
申込書をお送りください。

郵送先

〒272-0031  
千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F  
認定NPO法人コンボ「リカバリー全国フォーラム事務局」  
(担当: 桶谷・秋山)

FAX

047-320-3871

2 参加費

種別	事前登録	当日参加	1日参加
一般	10,000(8,000)	11,000(9,000)	—
学生	6,000(4,000)	7,000(5,000)	—
家族	5,000(3,000)	6,000(3,000)	4,000
当事者	4,000(2,000)	5,000(2,000)	3,000

\*カッコ内は賛助会員割引料金。  
賛助会員のお申込みをされた場合は、  
賛助会員の参加費が適用されます

\*団体賛助会員の場合は、  
会費納入人数分のみ  
賛助会員料金が適用されます

\*キャンセルされた場合でも、  
参加費は返金いたしませんので、  
ご注意ください

3 分科会

ご希望の分科会の番号を申込書にご記入ください。  
先着順にて受付します。

\*トークライブ・記念講演・シンポジウムについては、  
全体会ですので 特にご記入の必要はありません。

4 お弁当

申込書のお弁当欄にご記入ください。

● 料金: 1,080 円 (税込)

- \* お肉 (鶏肉) とお魚が選べます
- \* 食堂で召し上がれます
- \* 日替わり。お茶付き

5 懇親会

申込書の懇親会欄にご記入ください。 \*当日受付は行いません

- 懇親会: お一人様 4,320 円 (税込)
- 日時・場所: 平成 28 年 8 月 26 日 (金) 午後 6 時 ~ 午後 8 時
- 会場: 帝京平成大学 3F 食堂

6 ご寄付

● リカバリー全国フォーラム2016の運営費にあてるため、ご寄付をお願いしております。

- \* 申込書のご寄付の欄に金額をご記入し、参加費等と一緒に振込みください。
- \* いただいた寄付については、寄付金控除の対象になります
- \* 3,000 円以上ご寄付いただいた方には特典をご用意しております。詳細はコンボホームページ (<http://comhbo.net>) をご覧ください。
- \* 寄付をいただいた方のお名前を報告書やウェブサイト等で公表させていただきます。匿名などご希望のある方は申込用紙の該当欄にご記入ください。

● Tシャツ募金も実施中です。<http://comhbo.net/>からお申込みください。

7 ご宿泊

宿泊確保日：平成 28 年 8 月 25 日（木）～平成 28 年 8 月 27 日（土）  
 宿泊料金：1泊・朝食・サービス料・消費税込み（お一人様の料金）

宿泊施設	部屋タイプ	宿泊料金(朝食付)	アクセス
第一イン池袋	シングル	11,400円	JR池袋駅(東口)徒歩3分
	ツイン	8,600円	
ホテルグランドシティ	シングル	11,200円	JR池袋駅(東口)徒歩5分
	ツイン	8,800円	
アークホテル東京池袋	シングル	13,400円	JR池袋駅(東口)徒歩6分
	ツイン	10,800円	

1. ツインルームは2名様でのお申し込みとなります(同室者名も申込書にご記入ください)
2. 禁煙・喫煙ルームをご希望の場合は、備考欄にその旨ご記入ください
3. お申込受付順に手配いたします。ご要望に沿えない場合もございますのであらかじめご了承ください

8 当日の案内

リカバリー全国フォーラム事務局より「参加確認書」をお送りいたします。  
 そちらをご持参の上、大会当日の「事前受付」にお越しください。

※参加確認書の発送は8月7日以降になります。

9 変更・取消

- ウェブサイトからお申し込みいただいた方は、ウェブサイトから変更・取り消しをお願いします。
- FAXにてお申し込みいただいた方は、リカバリー全国フォーラム事務局まで、FAXにてご連絡ください。
- 電話での変更・取り消しはお受けできませんのでご了承ください。
- 振り込みいただいた代金(宿泊費以外)の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

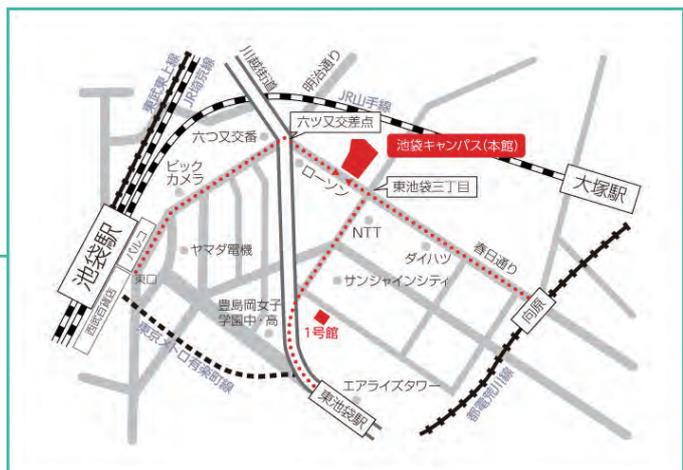
宿泊取消料 ※返金はフォーラム終了後となります。振り込み手数料はお客様負担になります。

取消区分	21日前まで	20日～8日前	7日～前日	当日・無連絡
取消料	無 料	10%	20%	100%

10 アクセス

帝京平成大学(池袋キャンパス・本館)  
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目51-4

- JR『池袋駅』東口から徒歩 12分
  - 東京メトロ有楽町線『東池袋駅』から徒歩 10分
  - 都電荒川線『向原駅』から徒歩 10分
- ※ お車でのご来場はご遠慮願います(駐車場はありません)。



《国内募集型企画旅行ご旅行条件書(抜粋)》この宿泊案内(書面)は、旅行業法第12条の4に定めるところの取引条件の説明書面及び同法第12条の5に定めるところの契約書面の一部となります。詳しい旅行条件は、<https://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2016/> でご確認のうえお申込みください。●個人情報の取扱いについて 当社は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。なお、当社グループ会社の名称及び各会社における個人情報取扱管理者の氏名については、当社のホームページ (<http://www.nta.co.jp>) をご参照ください。●募集型企画旅行約款について 書面の条件書に定めのない事項については当社旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。当社の旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。当社旅行業約款は、当社ホームページ (<http://www.nta.co.jp>) からご覧いただけます。●その他旅行条件及び旅行代金算出の基準日は、2016年6月8日を基準にしております。

お問合せ



**COMHBO** 認定特定非営利活動法人  
 地域精神保健福祉機構  
 Community Mental Health & Welfare Bonding Organization

「リカバリー全国フォーラム事務局」(担当: 桶谷・秋山)

TEL : 047-320-3870 FAX : 047-320-3871

営業時間 月～金 9:30～18:00 (土・日・祝祭日休み)

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノクスビル 2F

# リカバリー全国フォーラム2016申込書

申込締切日：平成28年8月7日(日)

◆「ウェブサイト」からの参加申込み・宿泊予約が可能です ▶ <http://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2016/>

■ 太枠内は全てご記入ください ■ 該当する□には✓印を付けてください

■ お一人様1枚ご記入ください(不足の場合はコピーしてください)

参加者名(フリガナ)		年代	e-mail	申込日 年 月 日	
		歳代		□お知らせメール便登録済	
参加証等送付先 ※自宅以外は、勤務先名までご記入ください				送付先区分: □自宅 □勤務先	
送付先名:				□初めて参加する	
送付先住所: 〒					
TEL:		FAX:			
このフォーラムを何で知りましたか? □こころの元気+ □開催案内 □メール □ホームページ □その他( )					
所属 該当に○	01 福祉サービス事務所 02 グループホーム 03 企業 04 就業・生活支援センター 05 保健所 06 デイケア 07 精神保健福祉センター 08 行政(国・都道府県) 09 行政(市町村) 10 病院 11 診療所 12 ハローワーク 13 福祉事務所 14 家族会 15 当事者会 16 その他( ) 17 なし				
職種 該当に○	01 職員・世話人・相談員 02 管理者 03 医師 04 OT 05 心理士 06 精神保健福祉士 07 ピアスタッフ 08 保健師 09 看護師 10 職業相談員 11 事務職 12 当事者 13 ボランティア 14 家族 15 企業 16 研究者 17 ホームヘルパー 18 その他( ) 19 なし				
参加区分 該当に○	一般の方 1.一般(10,000円) 2.学生(6,000円) 3.家族(5,000円) 4.当事者(4,000円) 賛助会員の方(賛助会員割引) 5.一般(8,000円) 6.学生(4,000円) 7.家族(3,000円) 8.当事者(2,000円) 賛助会員番号: 1日だけ参加の方(賛助会員以外の家族・当事者限定) □8月26日に参加 □8月27日に参加 □家族(4,000円) □当事者(3,000円)				
分科会 番号記入	8/26(金) 第1希望 第2希望 第3希望			※希望分科会の番号を記入 必ずご記入ください。 申込状況により ご希望に添えない場合があります	
	8/27(土) 第1希望 第2希望 第3希望				
お弁当	該当項目に○ (各1,080円): 1.8月26日・肉 2.8月26日・魚 3.8月27日・肉 4.8月27日・魚				
懇親会	該当項目に○ 8月26日の懇親会に 1.参加する(4,320円) 2.参加しない				
宿泊 1名様料金 ご希望の方は該当項目に ✓印を付けてください。 (朝食付・税付込)	8/25(木)	<input type="checkbox"/> 第一イン池袋	<input type="checkbox"/> シングル 11,400円	<input type="checkbox"/> ツイン 8,600円	同室者名( )
		<input type="checkbox"/> ホテルグランドシティ	<input type="checkbox"/> シングル 11,200円	<input type="checkbox"/> ツイン 8,800円	同室者名( )
		<input type="checkbox"/> アークホテル東京池袋	<input type="checkbox"/> シングル 13,400円	<input type="checkbox"/> ツイン 10,800円	同室者名( )
該当に✓印 □禁煙 □喫煙 ご希望に添えない場合が ございます。	8/26(金)	<input type="checkbox"/> 第一イン池袋	<input type="checkbox"/> シングル 11,400円	<input type="checkbox"/> ツイン 8,600円	同室者名( )
		<input type="checkbox"/> ホテルグランドシティ	<input type="checkbox"/> シングル 11,200円	<input type="checkbox"/> ツイン 8,800円	同室者名( )
		<input type="checkbox"/> アークホテル東京池袋	<input type="checkbox"/> シングル 13,400円	<input type="checkbox"/> ツイン 10,800円	同室者名( )
該当に✓印 性別 □男 □女	8/27(土)	<input type="checkbox"/> 第一イン池袋	<input type="checkbox"/> シングル 11,400円	<input type="checkbox"/> ツイン 8,600円	同室者名( )
		<input type="checkbox"/> ホテルグランドシティ	<input type="checkbox"/> シングル 11,200円	<input type="checkbox"/> ツイン 8,800円	同室者名( )
		<input type="checkbox"/> アークホテル東京池袋	<input type="checkbox"/> シングル 13,400円	<input type="checkbox"/> ツイン 10,800円	同室者名( )
賛助会員申込・ 寄付	該当項目に○をつけてください 1.賛助会員(年5,000円)に申し込む 2.寄付する: 円 氏名の公表について(ご寄付をいただいた場合) □参加者名で □ペンネーム( ) □匿名で				
合計金額	参加費	お弁当代	懇親会費	宿泊費	賛助会員 ご寄付
	円	円	円	円	円

※申込書は、代金をお振込みの上、FAX:047-320-3871までお送りください。

合計金額 円

◆振込先 郵便振替 00230-2-116537 リカバリーフォーラム \* 振込手数料は本人負担でお願いします。青い振込用紙を使用してください

振込人名義:	振込日:平成28年 月 日	領収書宛名(必要方):
--------	---------------	-------------

※申込書の個人情報、各種手配・受領のための手続き、コンボからの各種お知らせ等以外には利用いたしません